

令和元年度第1回岡山県環境放射線等測定技術委員会議事概要

日時：令和元年7月19日（金）13時30分～15時30分

場所：メルパルク OKAYAMA 3階 芙蓉

(1) 議事

議題①

平成30年度第4四半期の日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの運転状況等について

- ・ 日本原子力研究開発機構が人形峠環境技術センターの廃止措置への取組、安全活動等の事業について計画どおり進捗したことを報告した。
- ・ 平成30年度第4四半期は事業所内で特に事故や異常等の発生はなかった。

議題②

平成30年度第4四半期人形峠周辺の環境放射線等測定結果について

【岡山県実施分】

- ・ 岡山県から、測定結果は管理目標値以下、あるいは従来との測定値と同レベルであったことを報告した。
- ・ 飲料水（天王地区）は通常、河川水を水源としているが、Rn-222及びU-238濃度について地下水レベルの濃度が検出された。確認の結果、鏡野町が冬場の水不足対策として一時的に地下水を利用した際に採水を行ったためと判明し、その旨報告した。
- ・ 審議の結果、「異常なし」と評価された。

【日本原子力研究開発機構実施分】

- ・ 日本原子力研究開発機構から、測定結果は管理目標値以下、あるいは従来との測定値と同レベルであったことを報告した。
- ・ 審議の結果、「異常なし」と評価された。

議題③

平成30年度人形峠周辺の環境放射線等測定報告書（案）について

- ・ 岡山県及び日本原子力研究開発機構から、それぞれ平成30年度人形峠周辺の環境放射線等測定報告書（案）について説明した。
- ・ 審議の結果、「適当である」と評価された。

議題④

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター周辺の空間 γ 線線量率に係る平常の変動範囲（案）について（令和元年度）

- ・ 岡山県及び日本原子力研究開発機構から、案に示した内容のとおり、令和元年度の測定結果の評価において参考とする平常の変動範囲の設定について説明した。

- ・ 審議の結果、案のとおり設定することとした。

(2) 総括

議題の審議等の結果について、議長により総括がなされた。

- ・ 機器の更新を行う際は、連続測定の継続性や有事のモニタリングに十分配慮して行うこと。
- ・ 飲料水（天王地区）の件に関連して、評価を行うにあたっては正確な比較対象を選択すること。
- ・ 現在行っている調査の目的や背景を改めて整理し、委員会のあり方を含めてよりよい形にしていくことが重要である。

(3) 連絡事項

事務局から、次回の委員会開催等について連絡した。